



PRESS RELEASE 2022.10.28

大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合

関連イベント及び館内展示のお知らせ

■関連イベント情報

2023年1月9日（月・祝）まで開催中の、大阪中之島美術館と国立国際美術館の共同企画となる展覧会「すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合」。この度、本展覧会の関連イベントの開催が決定いたしましたのでご案内いたします。展覧会及び関連イベントの告知についてご協力賜りますようお願い申し上げます。

● 国立国際美術館×大阪中之島美術館「GUTAIをめぐるナイトミュージアム トーク＆プレ・ツアー」

両館の担当学芸員が展覧会のみどころや、共同企画に至る道のりなどを語ります。

日時 11月4日（金）18:30 – 20:00

定員 トーク 50名／プレ・ツアー 20名（いずれも先着順・要事前申込）

主催 クリエイティブアイランド中之島実行委員会、大阪中之島美術館、国立国際美術館

*詳細は、クリエイティブアイランド中之島のHPをご覧ください。

(<https://nakanoshimalab.jp/program/program-753/>)

● 学芸員によるギャラリートーク

開催日時 2022年11月5日（土） 13:30 – 14:30

2022年12月17日（土） 13:30 – 14:30

会場 大阪中之島美術館 5階展示室

参加無料（要事前申込、要観覧券）、先着30名（聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します）

● 講演会「吉原治良の好奇心」

開催日時 2022年11月19日（土） 14:00 – 15:30

登壇者 向井 修二（美術家・元「具体美術協会」会員）

会場 大阪中之島美術館 1階ホール



向井 修二



- インターナショナル スカイ フェスティバル

「インターナショナル スカイ フェスティバル」とは、1960年に「具体美術協会」（具体）が大阪なんば高島屋の屋上で実施した展覧会です。具体的な会員や海外の作家による下絵を拡大して描き、アドバルーンに吊って空中に展示しました。今回の展示は、当時の発表内容とは異なりますが、大空での展覧会を体感していただける内容です。当館の屋上より、元「具体美術協会」会員の向井修二、松谷武判、今井祝雄らの作品を含む計7球のアドバルーンが掲揚される予定です。

*荒天の場合は日程が変更となります。その場合は大阪中之島美術館公式ホームページでお知らせいたします。

開催日時 2022年11月15日（火）－ 20日（日） 10:00 – 17:00

会場 大阪中之島美術館 屋上から掲揚（屋上にはお入りいただけません）



「インターナショナル スカイ フェスティバル」風景 1960年



制作風景

* 今井祝雄氏による制作は10月31日（月）午後を予定しております。当日のご取材もお受けいたしますので、ご希望の場合は美術館広報担当（pr@nakka-art.jp）までご連絡をお願いいたします。



■館内展示作品について

- 元永定正《作品（水）》 1956/2022年 本展のための再制作

1956年の野外具体美術展で発表された本作。吉原治良からは「水の彫刻」と称賛を受けました。本展のために再制作された、色とりどりの水がパッサージュを彩ります。

展示場所： パッサージュ 吹き抜け



- 向井修二《記号化されたトイレ》 2022年 本展のためのインスタレーション

1966年、「ジャズ喫茶 チェック」は、向井修二の無意味な記号で全面が埋め尽くされました。本展では大阪中之島美術館5階・男女お手洗いに場所を移動。作者にとって記号化とは「価値の上塗り」だといいます。記号で侵食されたトイレをご覧ください。

展示場所： 5階男女トイレ

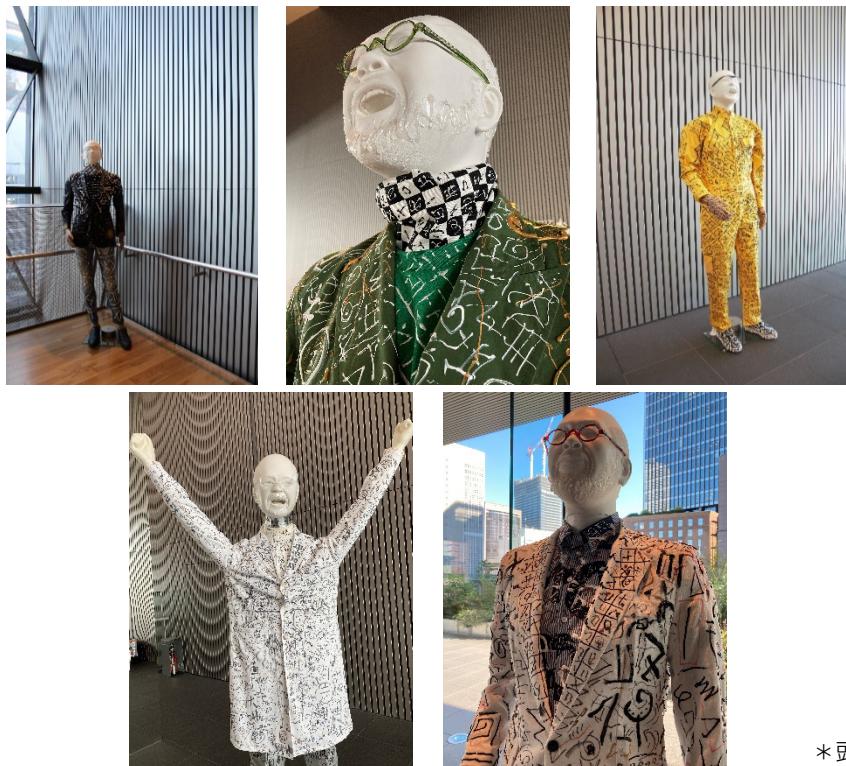




● 向井修二 《アバター 1, 2, 3, 4, 5》 2022年

向井修二の代名詞、「記号化」は対象を選びません。本展で記号化のターゲットとなったのは菅谷富夫館長。全身が記号で覆いつくされた5体のアバターは、館内各所に展示されています。

展示場所： 館内随所

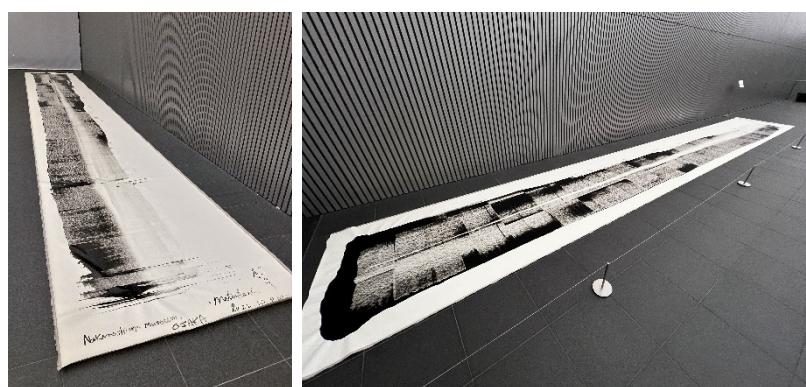


*頭部制作 | 井上智也

● 松谷武判 《一》 2022年

2022年10月22日、展覧会初日を記念して「一」をテーマに松谷武判がパフォーマンスを行いました。作品中央を貫く「一」をご覧ください。

展示場所： 5階南側パッサージュ



※4作品全て撮影可



● 作家 インタビュー映像「GUTAI INSIGHT 作家たちの記憶」 2022年 26分52秒

元「具体美術協会」作家である向井修二、松谷武判、今井祝雄のインタビュー映像を上映しています。具体との出会いや制作について語る様子をご覧いただけます。

展示場所： 5階展示室

*撮影不可



大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画

すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合 展覧会紹介及び開催概要

具体美術協会（具体）は、1954年に結成された美術家集団です。画家の吉原治良（1905-72）を中心としたこの集団は、絵画をはじめとする多様な造形実践をとおして、「われわれの精神が自由であるという証を具体的に提示」しようとしました。吉原による指導のもと、会員たちがそれぞれの独創を模索した18年の軌跡は、いまや国内外で大きな注目を集め、戦後日本美術のひとつの原点として、なかば神話化されるに至っています。

本展覧会は、そんな具体的な歩みを、「分化」と「統合」という二つの視点からとらえなおす試みです。誰の真似にも陥らず、互いに異質であろうとしながら、あくまで一個の集団としてまとまろうとするその姿勢は、吉原の考える美術のあるべき姿、つまり「人間精神と物質」とが対立したまま、握手」している状態とも、重なりあうものだと言えるでしょう。

大阪中之島美術館と国立国際美術館、二会場によって構成される本展覧会は、具体的活動拠点である「グタイピナコテカ」が建設された地、大阪の中之島で開催される初の大規模な具体展です。大阪中之島美術館で具体を「分化」させ、それぞれの独創の内実に迫りつつ、国立国際美術館では具体を「統合」し、集団全体の、うねりを伴う模索の軌跡を追う。それによって目指すのは、新しい具体的な姿を提示することにほかなりません。解散後50年となる2022年、「すべて未知の世界へ」と突き進んでいった彼ら／彼女らのあゆみをご覧ください。

【展覧会名】	大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 すべて未知の世界へ — GUTAI 分化と統合
【会期】	2022年10月22日(土) – 2023年1月9日(月・祝)
【開場時間】	10:00 – 17:00 *国立国際美術館は金曜・土曜20:00まで（入場は閉場の30分前まで）
【休館日】	月曜日（ただし、1月9日[月・祝]は両館開館／1月2日[月・休]は大阪中之島美術館のみ開館） *大阪中之島美術館は12月31日[土]、1月1日[日・祝]休館 *国立国際美術館は12月28日[水] - 1月3日[火]休館
【会場】	大阪中之島美術館 5階展示室、国立国際美術館 地下2階展示室



【主催】 大阪中之島美術館、国立国際美術館、朝日新聞社、MBSテレビ

【協賛】 竹中工務店

【協力】 公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団

【助成】 令和4年度文化庁優れた現代美術の国際発信促進事業、公益財団法人 花王 芸術・科学財団
一般財団法人 安藤忠雄文化財団

【特別協力】 芦屋市立美術博物館、兵庫県立美術館

【観覧料】

会場/券種	大阪中之島美術館	国立国際美術館
2館共通券		2,500円
一般	1,400円 (1,200円)	1,200円 (1,000円)
大学生	1,100円 (900円)	700円 (600円)

高校生以下・18歳未満無料（要証明）*税込み価格。カッコ内は20名以上の団体料金。

【問い合わせ】 大阪中之島美術館の展示について：06-4301-7285（大阪市総合コールセンター）

国立国際美術館の展示について：06-6447-4680（代）

【各館公式ホームページ】

大阪中之島美術館：<https://nakka-art.jp/exhibition-post/gutai-2022/>

国立国際美術館：https://www.nmao.go.jp/events/event/gutai_2022_nakanoshima/

本展は新型コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで開催いたします。都合により、会期・開館時間などが変更になる場合があります。最新情報は各館公式ホームページなどでご確認ください。

—報道に関するお問い合わせ—

「GUTAI 分化と統合」広報事務局（共同PR内）担当：三井

E-mail: gutai-2022-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382 / FAX. 0120-653-545

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10F

大阪中之島美術館に関するお問い合わせ先

広報担当：平・山本・東森

TEL: 06-6479-0560 Email: pr@nakka-art.jp

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1

URL: <https://nakka-art.jp>